平成26年1月28日

群馬県安中市板鼻16番地の1 関東西濃運輸株式会社 代表取締役 羽鳥 義雄

## 貸借対照表

平成25年3月31日

(単位:千円)

							-							(単位	: <u>十円</u> )
	資	産		の	部				負		責	0	カ	部	
	科	目			金	額		科			目			金	額
流	動	資	産	(	13,05	54,974)	流		助	負		債 (	(	3,84	8,489)
	現金		金		2,59	94,042		支	払		手	形		81	8,000
	受	取 手	形		{	32,257		営	業	未	払	金		1,09	6,046
	営	業 未 収	金		2,8	19,859		未		払		金		61	9,095
	有	価 証	券		1,50	00,000		未	払		費	用		14	3,940
	貯	蔵	묘		4	29,249		未		消費		等		13	0,960
		期貸付	金		5,7	16,864		未	払	事	業	税		2	0,187
	未	収 入	金		(	51,648		預		り		金		45	4,378
	繰延	_ , ,	•		22	20,384		未		法 人	、税	等		3	8,230
		他の流動資				46,383		親		社 未		金		5	3,649
		到 引 当	金		$\triangle$	15,715		賞	与	引	当	金		47	4,000
固	定	資	産	(	12,17	76,387)	固	Ţ	定	負		債 (	(	2,48	9,512)
有		固 定 資	産	(	10,76	52,728)		退	職給	计付	引当	金		2,26	3,341
	建		物		4,33	38,492		役員	員退耶	哉慰り	対引	当金		3	9,200
	構	築	物			17,443			産除る						6,970
	機	械装	置			33,125	負		責	合		計			8,001
		輌 運 搬	具		69	93,775		純		資		産	$\mathcal{O}$	台	3
	工具	具器 具備	品		2	25,871	株	=	È	資		本		18,86	8,180
	土		地			54,019		<b></b>		本		金			0,000
無		固定資	産	(		52,096)	Í			剰	余	金(	(	11,47	8,090)
	借	地	権		í	51,607		資	本	準	備	金			0,090
		話 加 入	権			7,212			の他					4,90	8,000
		也の無形固定				3,276	秉			剰	余	金(	(		0,090)
投		の他の資	• /	(	1,3	51,562)		利	益	準	備	金		12	9,084
	投資	育価 証	券			35,163			の他						1,006
		社株式及び出			í	58,000			別追			金		7,11	5,000
	出	資	金			160			繰越		剰分				6,006
	長其					13,277	評	価 ・	4) C	算差	, .	等 (	(		5,180)
	差	入 保 証	金			34,710			西証						5,180
	繰页	_ , _ ,				30,251	純	資	産		合	計		18,89	
資	産	合 章	<u> </u>		25,23	31,362	負	債 •	純	資	至 合	計		25,23	1,362

## 個別注記表

記載金額は千円未満を切捨てて表示しております。

## I (重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1. 資産の評価基準及び評価方法

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

その他有価証券

時価のあるもの 決算日の市場価格等に基づく時価法 (評価差額は全部純資産直

入法により処理し、売却原価は移動平均法により算出)

時価のないもの 移動平均法による原価法

(2) たな卸資産の評価基準及び評価方法

貯蔵品 移動平均法による原価法

2. 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産 建物(建物附属設備を含む) および車両運搬具は定額法

上記以外については定率法

(2) 無形固定資產 定額法

3. 引当金の計上方法

(1) 貸倒引当金 債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒

実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収

可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。

(2) 賞与引当金 従業員に対する賞与の支払に備えるため、支給見込額基準に基づ

き計上しております。

(3) 退職給付引当金 従業員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務の

見込額に基づき計上しております。数理計算上の差異は、その発 生時の従業員の平均残存勤務期間内の一定の年数(10年)によ

る定額法により翌期から費用処理しております。

(4) 役員退職慰労引当金 役員の退職慰労金の支給に備えるため、内規に基づく期末要支給

額を計上しております。

4. その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

(1) リース取引の処理方法 リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外の

ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る

方法に準じた会計処理によっております。

(2) 消費税等の会計処理 消費税等の会計処理は、税抜方式によっております。

## Ⅱ (当期純損益金額)

当期純利益 10,198 千円